

燃料費の再算定について

2023年3月3日
東北電力株式会社

- 燃料費算定の参照期間を直近 3 か月（2022年11月～2023年1月）に置き換えて暫定的に再算定を実施。
- 再算定の結果、燃料費全体で申請原価から139億円の減少となる見込み。

【単価の考え方】

		申請時	再算定
石炭系		2022年7月～9月の各国別の全日本通関CIF価格を、自社の過去3年間（2019-2021年度）の国別調達数量比率※にて加重平均し算定。 ※ロシア炭の代替を織込み	【共通】 燃料費算定の参照期間を直近 3 か月に置き換え。 ただし、LNGスポットは、JKM実績に基づき算定。
ガス系 (LNG)	長期	合意済の価格フォーミュラで算定。	
	スポット	2022年7月～9月の全日本通関統計データより抽出。	
石油系 (重油)		国産重油は2022年7月～9月の市況価格、輸入重油は同期間の受入実績をベースに算定。	

【燃料費の再算定結果】

(単位：億円)

	2023～2025fy平均		影響額 ①－②
	再算定値 ①	申請値 ②	
火力	11,087	11,226	▲ 139
石炭系	5,145	5,033	112
ガス系	5,570	5,790	▲ 220
石油系	372	403	▲ 31
原子力	23	23	0
新エネ	50	50	0
自社計	11,160	11,299	▲ 139